

## 節目の年 2021年の総括と展望

新型コロナウイルスは2021年も猛威を振るいました。日常生活が大きく変貌する中で、スポーツやアート、その原点である“遊び”の意義・意味を改めて感じ、考えています。

広報誌『游 ASOBI』の第5号をお届けします。2021年を節目の年にとらえ、この年にあったできごとや取り組みを紹介しています。

2021年は、日本サッカー協会（JFA）創設から100年となる節目の年でした。日本のスポーツ界をリードする競技団体のあゆみを知ることで、現状と課題、今後の方向性や可能性が見えてきます。日本のサッカーが学校を中心に展開してきたのは確かですが、地域クラブを育てる動きも間違いなくありました。97歳を迎えた賀川浩さんの証言は貴重です。10代のころに戦争で大会が中止になった経験は、コロナ禍でスポーツの機会が奪われる現状とも重なります。“続ける”ことの重要性を改めて感じました。

そのJFAが「育成年代でのヘディング習得のためのガイドライン」を示したのは2021年4月でした。「禁止ではなく、正しく恐れ、より適切な方法で」「続ける」姿勢でまとめられています。このことを取り上げたシンポジウムをはじめ、スポーツにおける安全・安心に関するトピックを本誌で紹介しています。安全・安心、言い換えると“いのち”を大切にすることが、もっとも尊重されるべきです。

その意味で、今夏の東京オリンピック・パラリンピックの開催をめぐる語られてきたことは重要です。「これを次にどう繋げていくか、その前に大会をどう検証するか」が問われています。本誌で紹介したオリンピック教育や国際交流事業はレガシーの一つと言えるでしょう。これらの取り組みも“続ける”ことが大切です。

TOKYO 2020 が終わった2021年9月には、日本初の女子プロサッカーリーグ「WEリーグ」が始まりました。新たなプロスポーツの誕生というだけではありません。WEリーグチェア岡島喜久子さんからは「ジェンダー平等、多様性社会の実現」といった理念が語られました。興行的には多くの課題があるでしょうが、“続ける”中で掲げられた理念が実現されることを願います。この意欲的な取り組みを、これからも見守っていきたいと思います。

コロナ禍にあるとはいえ、いまこれを書いている私は、平和で、安全・安心で、“ゆたかなくらし”がイメージできる東京都内にいます。しかしいまウクライナでは、人々の“いのち”が危機にさらされています。

冒頭にも書きましたが、「日常生活が大きく変貌する中で、スポーツやアート、その原点である“遊び”の意義・意味を改めて感じ、考え」ます。考えたことを語り合い、行動する場であり続けられるよう、持続可能なNPOのすがたをさぐっているところです。

これからもよろしく願います。そして、「スポーツを通しての“ゆたかなくらしづくり”」という“志”に賛同していただけるなら、私たちの仲間になりませんか？

2022年3月15日

特定非営利活動法人サロン2002

理事長 中塚義実



## <特定非営利活動法人サロン 2002 とは>

特定非営利活動法人サロン 2002 は、スポーツを通しての“ゆたかなくらしづくり”を“志”とする NPO です。

全国各地にいる約 100 名のメンバーは、学校関係者、スポーツ指導者やトレーナー、スポーツクラブの運営に携わる方、フットサルや草サッカーの関係者、メディア関係者、サポーターやボランティア、スポーツ行政に携わる方や競技団体関係者、医者や弁護士、アーティストなど多種多様です。さまざまな角度からスポーツに携わり、“志”の実現に向けて活動する者で構成されるのが「サロン 2002」です。

NPO 法人サロン 2002 の主たる活動は、2021 年 10 月で通算 300 回となった月例サロンの開催と、その内容を軸とするホームページの運営です。2020 年度から月例サロンはすべてオンラインで開催し、今年度は「スポーツと安全」をめぐるトピックや、TOKYO 2020、WE リーグなどを取り上げてきました。

公開シンポジウムは 2001 年度よりほぼ毎年行われ、人と情報の行き交う場として定着しています。今回は 2021 年の総括として企画されました。

詳細はホームページ< <http://www.salon2002.net> > をご覧ください。

### < サロン 2002 公開シンポジウム >

2001 年度…FIFA コンフェデレーションズカップ総括  
2002 年度…FIFA ワールドカップ総括  
2003 年度…地域で育てるこれからのスポーツ環境  
2004 年度…t o t o を活かそう！  
2005 年度…クラマーさん、ありがとう！  
2006 年度…2006 年ドイツで感じたこと  
2007 年度…サッカー観戦を楽しもう！ - スタジアム編  
2008 年度…地域からみた J リーグ百年構想  
2009 年度…2019 年ラグビーワールドカップを語ろう！  
2010 年度…育成期のサッカーを語ろう！  
2011 年度…高校サッカー 90 年史を語ろう！  
2012 年度…U-18 フットサルを語ろう！  
2013 年度…スポーツクラブの法人化を語ろう！  
2015 年度…スポーツで“ゆたかなくらし”を！  
2016 年度…日本サッカーのルーツを語ろう！  
2017 年度…Before2002, After2020- サロン 20 周年記念  
2018 年度…部活動を語ろう！  
2019 年度…ラグビーワールドカップ 2019 を語ろう！  
2020 年度…「With/After コロナ」の時代に向けて  
2021 年度…①安心・安全なサッカーを目指して  
② JFA100 周年 2021 年の総括と展望

### 特定非営利活動法人サロン 2002 定款

#### 前文

日本のスポーツは、学校を中心に世界に類を見ない発展を遂げてきた。しかし、その反面、教育的意義のみが過度に強調され、勝利至上主義や特待生問題、あるいは「体罰」問題など、閉鎖社会ゆえの諸問題や組織疲労が起きている。

一方、社会に目を向けると、東日本大震災からの復興、ライフワークバランスの充実、社会的弱者の支援など、取り組まねばならない課題が山積している。

本来スポーツは「遊び」であり、「楽しみ」や「気晴らし」を意味するものである。私たちは、スポーツには、さまざまな社会問題を解決する潜在的な力があると信じている。また、社会問題と接することによってスポーツの持つ可能性が広がり、文化としてのスポーツが人々のくらしの中に根付くようになってほしいと願っている。

私たちは、2002 年 FIFA ワールドカップ韓国／日本大会を契機とし、サッカー・スポーツを通じた 21 世紀の“ゆたかなくらしづくり”の実現を“志”として、スポーツ文化研究会「サロン 2002」を設立した。年齢、性別、国籍、職業、専門分野、生活地域などを越え、全国各地にサロン 2002 の“志”の輪を広げ、“志”に賛同した人々が、その実現に向けて自発的に行動することにより、社会を変える大きなムーブメントとなることを企図してきた。

スポーツを通しての“ゆたかなくらしづくり”に貢献できるよう、“志”に賛同する仲間のネットワークを広げ、深めていくとともに、それを基盤としてさまざまな社会問題に対応したスポーツ関連事業の主体として積極的に取り組んでいけるよう、特定非営利活動法人サロン 2002 を新たに設立する。

2014 年 5 月 31 日